

平成26年4月吉日

お得意様各位

株式会社 タテムラ
システムサービス課
福生市牛浜104

System-V 財務消費税率8%改正プログラム～第2弾～ ネット更新について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお取引を賜り誠にありがとうございます。

財務消費税率8%改正プログラムの第2弾が完成しましたのでお知らせ致します。つきましては同封の資料を参照の上、更新作業を行っていただきますようお願い申し上げます。

今までデータ管理種類が(旧)データで、前回発送の消費税率8%対応更新後すでに(26)になっているデータにおいては、科目名や合計科目の貸借税原則が正しくない可能性があります。お手数ですが、P.5の方法で必ずデータ確認を行っていただき、該当データがあった場合には自動科目修正作業を行っていただきますようお願い申し上げます。

今後とも倍旧のお引き立ての程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

送付資料目次

※ご注文または財務プログラム保守契約にもとづき、以下の内容を同封しております。

送付プログラム

プログラムの送付はございません。ネット更新をお願い致します。

取扱説明書

<http://www.ss.tatemura.com/> より確認できます。

案内資料

- ・ System-V ネット更新作業手順及びバージョンNO. 一覧 1～3
- ・ 財務プログラム 更新内容 4

※※必ずご確認をお願いします※※

- ・ (旧)→(26)データ確認方法及び自動科目修正手順 5～6

送付内容のお問い合わせ先

送付内容に関するお問い合わせにつきましては、サービス課までご連絡下さいますようお願い致します。尚、保守にご加入のお客様はフリーダイヤルをご利用下さい。

TEL 042-553-5311 (AM10:00～12:00 PM1:00～3:30)

FAX 042-553-9901

以上

【プログラム等のネット更新をご希望のお客様へ】

弊社システムに更新があった場合、マルチウィンドウ端末起動時に以下のメッセージを表示します。

```

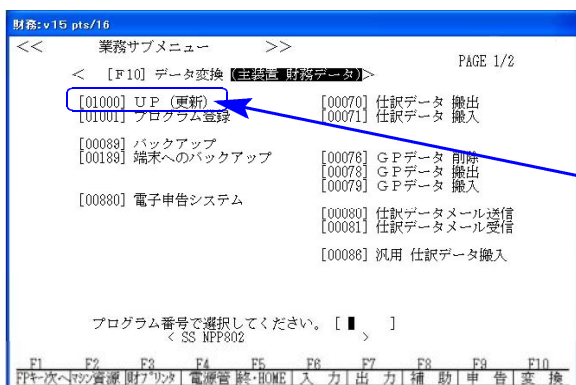
プログラム更新 〇〇個のファイルが新しくなっています
                1000番の4で更新できます

*** 以上を読んだら Enter を押してください ***
  
```

同時に、あらかじめご登録いただいているメールアドレスに更新のお知らせを送信致します。

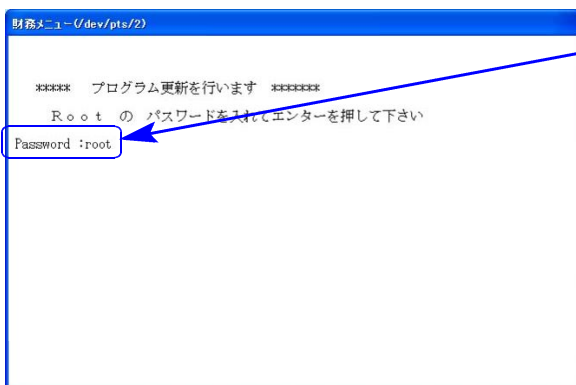
上記メッセージを表示した場合、System-Vのプログラム更新(サーバー側)がございますので以下の作業手順に従って更新作業を行って下さい。

サーバーの更新方法



① 初期メニューより **F10** データ変換を選択します。**[1000]** UP (更新) を呼び出します。

1000 **Enter** を押します。



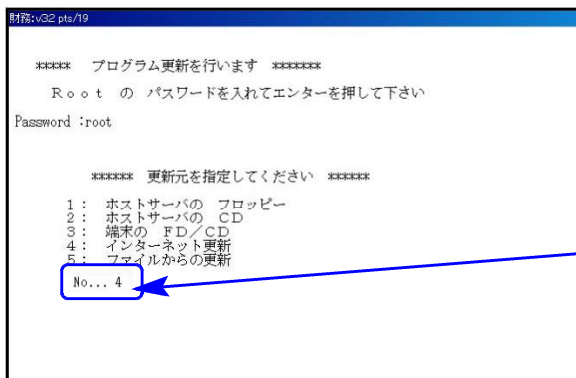
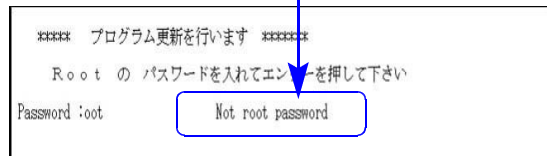
② 左下図の画面を表示します

Enter を押します。

(rootは入力しません)

r o o t は消さないように注意して下さい。

※パスワードを消した場合エラーを表示します。



③ 左図の画面を表示します。

『4』インターネット自動更新を選択します。

4 **Enter** と押します。

```

財務:V32 pts/19

***** プログラム更新を行います *****

Root の パスワードを入れてエンターを押して下さい

Password :root

***** 更新元を指定してください *****

1: ホストサーバの フロッピー
2: ホストサーバの CD
3: 端末の FD/CD
4: インターネット更新
5: ファイルからの更新

No... インターネットを更新できるか調べています
Check host= www.tatemura.co.jp/loginck.html Next
Check host= taml.net/loginck.html Next
Check host= www.tatemura.net/loginck.html 4
Find listURL http://www.tatemura.com/cgi/lxlist.cgi
Check host= www.tatemura.com/cgi/lxlist.cgi Find Data
FileCheck from http://www.tatemura.com/cgi/prdown/tub80/download.cgi 4

```

④ 左図の画面を表示します。

『インターネットで更新できるか調べています』のメッセージを表示します。チェック終了後にインストールが始まりますので終了までそのままお待ち下さい。

転送作業は全システムを見比べ、差分をインストールしております。インターネットの環境にもよりますが、『10~20分』かかります。

```

財務:V32 pts/19
Date: Wed, 10 Feb 2010 02:23:40 GMT
Server: Apache
Check: ccc9c1d1bc5090d9385edca0aa80d4d20
Content-Length: 494713
Connection: close
Content-Type: application/octet-stream bin

8
機密情報ファイル をインストールします[y/n/a/!]? ...A
HTTP/1.1 200 OK
Date: Wed, 10 Feb 2010 02:23:42 GMT
Server: Apache
Check: 004737b4004f727cbed87d62b8c4b63e
Content-Length: 12133
Connection: close
Content-Type: application/octet-stream bin

3
G Pの初期値 をインストールします[y/n/a/!]? ...A
0

****○○○ファイルを更新しました ****
F 5 を押して下さい

```

⑤ 転送作業が終了すると、更新したファイル数を表示します。

⑥ **F5** キーを押して更新画面を終了します。

```

財務メニュー(1106)
*** システムの終了実行 ***

現在 1 枚ウィンドウがひらいています システムを停止させても良いですか?
良ければ [F 3] を押して下さい

[ w010 ] 2枚

```

⑦ 左図の画面を表示しますので、再起動して下さい。

他の端末が起動していないことを確認します。

※ここに転送作業中の端末名のみ表示していることを確認します。他の端末名を表示している場合はその端末を終了して下さい。

単体の場合

中止(F 5)を何回か押してシステムを終了しWindows画面、もしくはポータル画面まで戻ります。戻った後、3分ほど待ち、再度システムを起動して下さい。

ネットワークの場合

実行(F 3)を押し、しばらくお待ち下さい。左図の画面を表示した後、しばらくすると自動的にマルチウィンドウ端末が終了、その後親機の電源も自動的に切れて再起動します。(※親機の電源が切れたあと5分ほど待っても再起動しない場合は、電源ボタンを押して起動して下さい。)

```

財務メニュー(1106)
*** システムの終了実行 ***

==== 実行が押されました ====
== システム終了します ==

*** 早急に端末を終了してください ***

```

転送作業後のバージョン確認

下記のプログラムは[F 6] (登録&入力)・[F 7] (帳表出力)・[F 8] (補助&比較等出力)・[F 17] (特殊管理登録)に表示します。

PG番号	プログラム名	VER	備 考	
11	仕訳入力	V-4.70	・TAC-Vコードにおいて消費税率8%に対応しました。 ・簡易元帳リストでページダウン/アップでリスト表示が抜けてしまう現象の改善を行いました。	
91	仕訳データ補正	V-5.02	データ管理種類(旧)→(26)になっているデータで、科目名や貸借税原則が正しくないものを修復する機能を追加しました。	
760	月別仕訳データコピー	V-3.11	データ管理種類の異なるデータ間での科目コピーが一部可能になりました。	
41	消費税仕入控除額計算書シミュレーション	V-5.01	合併サブミットの機能改善を行いました	
PG番号	プログラム名	V-VER	LX-VER	備 考
30	合計残高試算表	V-5.00	V-4.00	税抜き処理において、消費税率8%に対応しました。
31	営業成績報告書	V-5.00	V-4.00	
32	青色営業成績報告書	V-5.00	V-4.00	
33	当期原価報告書	V-5.00	V-4.00	
58	部門別営業成績推移表	V-5.00	V-4.00	
59	部門別当期原価推移表	V-5.00	V-4.00	
60	部門別営業成績報告書	V-5.00	V-4.00	
61	部門別当期原価報告書	V-5.00	V-4.00	
50	総勘定元帳	V-5.00	V-4.00	消費税率印刷する/しない、の選択対話を追加しました。
63	科目別補助簿	V-5.00	V-4.00	
37	消費税精算表	V-5.01	V-4.01	合併サブミットの機能改善を行いました
40	課税区分集計表	V-5.01	V-4.01	

※オプションプログラムのバージョンもあわせて記載しております。ご購入いただいていないプログラムは[---]で表示します。ご不明な点がございましたらサービス課までご連絡下さい。

● 以下帳表の税抜き処理において、消費税率8%に対応致しました。

[30] 合計残高試算表 [31] 営業成績報告書 [32] 青色営業成績報告書 [33] 当期原価報告書
 [58] 部門別営業成績推移表 [59] 部門別当期原価推移表 [60] 部門別営業成績報告書
 [61] 部門別当期原価報告書

● [50] 総勘定元帳 / [63] 科目別補助簿

印刷指定に「税率 1. いる 2. いらぬ」を追加しました。

補助変換	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.全コード	<input type="radio"/> 2.なし	<input type="radio"/> 3.一部
	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.明細のみ	<input type="radio"/> 2.コードと明細	<input type="radio"/> 3.な
消費税マーク	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
売上対応区分	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
税率	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
日計残高	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
月別合計	[1]	<input checked="" type="radio"/> 1.いる	<input type="radio"/> 2.いらぬ	
期首補助残高	[2]	<input type="radio"/> 1.いる	<input checked="" type="radio"/> 2.いらぬ	
※出力形式				
用紙選択	[2]	<input type="radio"/> 1.縦型(B5)	<input checked="" type="radio"/> 2.縦型(A4)	<input type="radio"/> 3.横型
印刷頁				

「税率 1. いる」にすると
 摘要の先頭に消費税率を
 印刷します。

26 年		308 事務用品費			
月日	科目名	摘要	借方	貸方	差引残高
3 31	現金	5% ノート他	1360		
"	"	5% ｷ:伝票	2130		3490
	3 月 計	-----	3490		
4 1	現金	8% ぺん	1253		4743
2	"	8% 罫:文房具	1000		5743

● T A C-Vコードでご使用のデータにおいて、消費税率8%に対応致しました。

● [760] 月別仕訳データ補正において、科目コピーの機能を追加しました。

データ間での科目コピーが、以下の範囲でできるようになりました。

コピー元管理種類	→	コピー先管理種類	
(旧)	→	(旧)	} 一般科目・合計科目とも指定可 科目登録内容を全部コピー
(14)	→	(14)	
(18)	→	(18)	
(18)	→	(26)	
(26)	→	(26)	
(旧)	→	(26)	} 一般科目のみ指定可 科目名・短縮科目名・略称のみコピー
(14)	→	(26)	

※上記以外はコピー不可※

● [91] 仕訳データ補正に「7. その他」を追加しました。

※7. その他の使用方法については、次ページの『(旧)→(26) データ確認方法及び自動科目修正手順』をご覧ください。

前回(平成26年3月30日)発送の第1弾更新後、平成26年4月1日を含む会計期間データは管理種類が(26)データに自動で変わっています。※消費税率8%の入力ができるデータは管理種類(26)です。

今までデータ管理種類が(14)商法対応や(18)会社法対応のものが(26)に変わった場合は問題ありませんが、(旧)データだったものが(26)に変わった場合は科目名や科目の貸借税原則が正しくない可能性があります。特に個人データにおいては平成14年商法以降科目体系が変わりましたが、(14)への変更を行わずに(旧)のまま使用していた場合は科目修正が必要です。

以下の方法でデータの確認を行っていただき、(旧)→(26)該当データがある場合にはデータごとに自動科目修正作業をお願い致します。

※今回の第2弾更新後に(旧)→(26)に変わったデータは問題ありません。

確認方法

- 《方法1》 [99] 仕訳データリストで管理種類を確認します。
(26) データがあったら、その前期(年)データの管理種類を確認して下さい。

*** ユーザリスト (V-5.00) ***

前期(旧)→今期(26) 修復が必要です。

番号	ユーザ名	期首日	期	種別	ファイル位置	
1001	田中 一郎	平23. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	旧
1001	田中 一郎	平24. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	旧
1001	田中 一郎	平25. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	旧
1001	田中 一郎	平26. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	26
1002	鈴木 次郎	平25. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	14
1002	鈴木 次郎	平26. 1. 1	0	個人	主装置 財務データ	26
5001	株式会社 東京商事	平24. 4. 1	11	法人	主装置 財務データ	18
5001	株式会社 東京商事	平25. 4. 1	12	法人	主装置 財務データ	18
5002	ニューワ株式会社	平23.10. 1	1	法人	主装置 財務データ	18
5002	ニューワ株式会社	平24.10. 1	2	法人	主装置 財務データ	18
5002	ニューワ株式会社	平25.10. 1	3	法人	主装置 財務データ	26

前期(14)→今期(26) 問題ありません。
前期(18)→今期(26)

《方法2》 試算表での確認方法

(旧)→(26)になったデータは、試算表でもチェックできます。
個人の場合は『差引金額』の損益表示が逆になります。法人の場合は合計科目名が会社法対応になっていません。

財務: v 1.0 pts/27
*** モニター試算表 (V-3.11) ***
ユーザ: 3098 田中 一郎
出力用紙: 白紙A4又は11×11
期首日: 平成26年 1月 1日
期間: 1月 1日~ 4月30日

コード	科目名	前残	借方計	貸方計	残高
501	売上高	0	0	4,085,138	4,085,138
502	売上高B	0	0	502,000	502,000
9572	[売上<収入>金額]	0	0	4,587,138	4,587,138
401	仕入高	0	1,360,311	0	1,360,311
9520	[売上準備]	0	1,360,311	0	1,360,311
9574	[差引金額]	0	3,228,827	0	-3,228,827
9581	[差引金額]	0	3,228,827	0	-3,228,827
343	貸倒引当金繰入	0	343	0	343

個人データの差引金額
利益なのにマイナス表示していたら、修正が必要です。

法人データ「繰越利益剰余金」になっていなければ修正が必要です。

600	[資本金]
813	減資差益
9686	[資本準備金]
9513	[法定準備金]
9516	[当期末処分利益]
9594	うち当期損益
9674	[その他利益剰余金]
9514	[欠損金]

自動科目修正手順

```
財務メニュー (pts/10)
*** 仕訳データ補正 (V-5.01) ***
ユーザ.....[ 1001: 田中 一郎 ]
期首日.....[平成 26. 1. 1]
種別.....[法人]
補正選択....[ ]
1. ユーザコード変更
2. 期首日変更
3. 種別 (法人/個人) 変更
4. コード変更(H14年商法変更)
5. コード変更(H18年会社法変更)
6. 消費税個別対応変更
7. その他
```

1. [91]仕訳データ補正で、該当ユーザコードを入力後、補正選択「7. その他」を選択します。

「7」を入力します。

```
Z0004 :
V-1.01
仕訳データ補正 (その他) 業務選択
1: (旧) → (26) データ科目補正
No ..... [ 1 ]
```

2. 左図の画面を表示します。

「1」を入力します。

```
Z0018 :
==== (旧) → (26) データ科目補正 ====
対象ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (26)
旧ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (旧)
(旧) → (26) データ科目補正 行いますか [ 1 ] 1:行う 2:行わない
```

3. 左図の画面を表示します。

「1:行う」を選択します。

```
Z0018 :
==== (旧) → (26) データ科目補正 ====
対象ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (26)
旧ユーザ 1 平成 26年 田中 一郎 (旧)
(旧) → (26) データ科目補正 行いますか [ 1 ] 1:行う 2:行わない
===== 実行 =====
```

4. 「完了」を表示したら終了です。

F5 キーを押します。

※操作等、ご不明な点がございましたらシステムサービス課までお問い合わせ下さい。